

## H31 福住 S・ジョブズ・スクール 開催要項

- 目 的** 福住の環境を生かして青少年の健やかな育成を図る
- ・地域の素材を自ら学ぶ学習に活かす
  - ・自然や地域文化にふれ、子ども同士・多世代の交流を図る
  - ・地域の良いところを、みつけ・つたえ・いかす
- 募集対象** 福住小学校および市内外の希望児童・幼児および保護者  
募集人数 40名
- 場 所** 福住小学校、福住中学校、公民館、福祉センター他
- 学習プロジェクト**
- a. ふるさとたんけん・・・地域の旧跡や行事に興味をもち、祭り・行事に参加
  - b. 里山のめぐみ ……里山の花や実を調べる、地元の食材を味わう
  - c. 情報を伝える ……日記・記事・動画など体験したことを伝える

	月 日	時 間	主な内容	外部講師	会 場	連 携
1	4/20 (土)	12~16 午前スポーツ	開校式 b里山の草木さがし a 天道花 (花まつり準備) b さくらご飯		福住中学校(多目的室) 西念寺	4/21(日) はなまつり
2	7/7 (日)	13~16	b 水辺観察と動画撮影	松井教授	別所下之坊	奈良教育大学
3	8/31 (土)	15~20	行灯づくり a 盆踊り参加		氷室神社	
4	11/23 (土)	12~16 午前スポーツ	b 塔の森の植物観察	松井教授	別所公民館	
5	1/12 (日)	10~14	b とんど祭(学進祭)に参加 書き初め体験 閉校式		氷室神社 福住公民館	学進祭

**参加費** 子どもの参加費 500円/回、3人以上の兄弟場合は 1,000円/回  
保護者には参加費を徴収しない。活動の見守りや移動・作業のご協力をお手伝いします。  
調理体験や弁当持参をお願いすることもあります。経費を節減することにしました。

**持ち物** ノート、筆記用具、作業のできる服装、水筒、マイ食器・箸・スプーン

**申込方法** 参加申込書に必要事項を記入して福住小学校または事務局まで

E-mail: [info@yama-to.jp](mailto:info@yama-to.jp) google フォームで入力

- ・ 全回参加でなく部分参加ができます。・ 当日参加費を集金します。
- ・ 会場までの送迎は保護者の責任でお願いします。発熱や体調が悪いときは登校を見合わせて下さい。
- ・ アレルギー・喘息・既往症など特に注意が必要なお子様は申込書に記載してお知らせください。
- ・ 活動中に撮影した写真を報告や広報に使用することがあります。掲載を差し控えて欲しい場合は事前に申し出ください。ご理解・ご協力をお願いします。
- ・ 未就園のご家族の参加を歓迎します。保護者の同伴で参加・見学が可能です。
- ・ 個人情報土曜学習の管理以外には使用しません。

**後援予定** 奈良県、天理市教育委員会

**協 力** 朝日学生新聞社 (朝日小学生新聞)、公益財団法人森林文化協会

**主 催** 高原地域交流協議会

**主 管** NPO 法人日本無形文化継承機構 (JICIA:ジッカ) 〒632-0122 天理市福住町 4005

携帯:090-3356-5022 (前嶋文典) E-mail:info@yama-to.jp

## 福住 S・ジョブズ・スクール(土曜学習)について

NPO 法人 日本無形文化継承機構

理事 前 嶋 文 典

当会の活動にご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

福住 S・ジョブズ・スクールは、平成 28 年 4 月に「未来につなぐ“子育てしたいふるさと”」を理念に開校しました。里山・故郷の良いところを大学生と一緒に、みつけ・つたえ・いかす、アクティブ・ラーニングです。参加費など運営を見直し家族で参加しやすくして 4 年目の講座を開講します。お子様と保護者のみなさんのご参加をお待ちしています。

### 1. 社会的な態度や能力を養う地域学習

小学校では、総合学習と地域ボランティアの協力による体験活動があります。子どもたちがいろんな人と接し、尋ねたり人の話を聞く力、体験して感じたことを書いたり話して伝える表現力、コミュニケーション力の育成につながります。

福住には子どもたちの好奇心をかき立てる学習の素材が沢山あります。学校の時間で拾いきれない部分を土曜学習で修得できます。

### 2. メディアリテラシー（＝情報や知識の活用能力）を身につける

地域の魅力を iPhone/iPad で撮影して動画を YouTube にアップします。朝日小学生新聞に寄稿した記事が全国紙面で紹介されます。

①情報が正しいものかどうかを判断する「メディアを読み解く力」。

②目的や状況に応じて、どのメディア機器を使えばいいのか、その特徴を知り使い分ける「メディアを活用する力」、③「メディア機器を通じて上手にコミュニケーションする力」。作り手側の活動を体験し、これからの情報化社会とうまく付き合うための力を身につけます。



### 3. 通いたくなる福住の教育環境づくり・学校という場を核にした地域創生

子どもたちが地域の魅力（福住のステキ）を自ら体験して発見し、楽しみながらふるさとの良いところを発信する。子どもたちがワクワクする教育環境を地域が学校と協働してつくります。学校は地域コミュニティを支える不可欠な施設です。子どもたちの健やかな成長をみんなで見守り支え、自らも支えてもらっている思いを、地域の中心の学校を拠点に校区全体に広げます。今年からはじまるコミュニティースクールとも連携していきます。